



女性村

# ねぎぼうず

vol. 09  
2024 Spring

## 「大野隆司の版画だらけ猫だらけの部屋」

4月OPEN 観る人みんな励ましたい。力を抜いてみてね。

—— 誰でもわかる「猫」という素材に、先生の版画のメッセージの文が楽しくて面白い。考えたり、笑ったり、納得したりしてしまいます。

**大野** 妻が入院していた時、猫とイカが踊っていて、ごきげんいかがと書いて持っていました。妻も笑うし、周りの人にも大うけでした。「よし」と思いました。

—— そこに版画的なものは、大野 最初は一字違いですが「まんが家」になりたいと思いました。やはり「はんが家」を選択したのは、版画の、彫って刷ってという工程の面白さと、もしかしてその表現から物語性のあるメッセージが作れるのではないかと、思いました。

—— 猫は大野さんの定番、どうしてねこになったのですか

**大野** 可愛いではなく、一緒に住んでいてもはや家族ですかね。情が移ってしまっています。家に今三匹、以前は七匹いました。



—— 版画をおやりになるきっかけは

**大野** 谷中安規(画家・版画家 1897~1946)さんの版画を見てから、かなり衝撃的でした。すごいシリアスなものから幻想的なものまで、暗い物から明るいものまで、こんなに人に訴えるものがある。最初は僕だって何か、複雑怪奇なものを描きましたが、だんだんそぎ落とし、今は明るい物ばかりですかね。

—— そこに至るまでは

**大野** 僕、大学は文学部仏教学科なんです。学園闘争の激しい時で大学もいかず、挙句やめてしまっ、そうですね、青春はコンプレックスの塊でした。なぜ生きるか、悩み多い青春時代の中で、生きることの表現って何だろうと考えたりしていました。

# EVENT

## 春からの行事のご案内

【4月】

手相鑑定  
浅野美由紀先生の開運占い

日々変化する手相から、暮らしのヒント、開運、運勢を占ってみませんか。  
日時：令和6年4月14日(日) 10:00~16:00  
費用：1,000円/10分 ※事前のお申込みが必要(空きがあれば当日のお申込みも可)

自然インストラクター 黛治男氏による「里山クラブ」

日時：令和6年4月14日(日)  
〈講座〉10:00~10:40  
バステルカラーに染まった里山：春爛漫の山里の花々  
〈散策〉11:00~12:30  
初鳥屋の「枝垂れ桜の里」の自然観察  
費用：無料 ※事前のお申込みが必要(先着15名 講座と散策どちらかだけでも参加可)

高橋美清(たかはしびせい)尼僧による  
「青空説法(第7回)」

日時：令和6年4月14日(日) 13:00~14:00  
費用：無料 ※事前のお申込みが必要  
※本説法は毎月1回開催予定

コケ研究者の中澤和則氏による  
「チヤッポミコケ見学会」

日時：令和6年4月20日(土) 10:00~昼頃まで  
費用：無料 ※事前のお申込みが必要  
お申込み・お問い合わせ先  
下仁田町自然史館 geopark@town.shimonta.lg.jp  
TEL 0274-70-3070

植物学者 里見哲夫氏(元下仁田町教育長)による  
「遊ひと学びの自然教室」

日時：令和6年4月20日(土) 12:30~1時間程度で、懇親会を予定しております  
費用：無料 ※事前のお申込みが必要  
※本教室は毎月第3土曜日13時~開催予定(懇親会あり)

多田 欣也氏による「ガーデニング教室」  
春の花の寄せ植え

日時：令和6年4月27日(土) 13:00~(1時間半程度)  
費用：3,000円/人(材料費込み) ※事前のお申込みが必要(要~4月19日まで)  
※作った寄せ植えをお持ち帰りいただけます。

〈きんやファン倶楽部メンバー募集!〉  
年会費 500円

何が飛び出すか、何をさせられるかはわかりません。ガーデニング教室や小物づくり 講習会メンバー割引あり 年2回(夏・冬)懇親会あり プレゼントあり

相川厚医師による「生き生き健康教室」  
成人病を乗り切ろう!!

日時：令和6年4月27日(土) 14:30~15:30  
費用：無料 ※事前のお申込みが必要  
※本教室は毎月1回開催予定

4月オープン

松永伍一氏の「じもつたの部屋」

当協会初代会長の松永伍一氏は、詩人、民謡学、農文学、子守唄研究者、評論家、と多くの顔を持つ才人。松永伍一氏の「子守唄の里がいつかできるといいますね」お言葉を受けて、大規模ではありませんが、日々薄れていく子守唄文化を大切に保存できる空間を作りました。

大野隆司の「版画だらけ・猫だらけの部屋」

たくさん作品の中から猫にこだわり、勇気と元気の言葉を添えた生活版画。猫でいっぱい、言葉でいっぱい、癒しと元気に満たされている部屋ができました。

5月

稲村なおこ(歌手)「日本のうたコンサート」

日時：令和6年5月4日(土) 13:30~  
費用：1,000円 ※事前のお申込みが必要

高橋美清(たかはしびせい)尼僧による  
「青空説法(第8回)」

日時：令和6年5月11日(日) 13:00~14:00  
費用：無料 ※事前のお申込みが必要  
※本説法は毎月1回開催予定

松富祥子「フジコ・ヘミングという女性の生き方」

日時：令和6年5月11日(日) 14:00~15:00  
24年間ともに歩いたフジコヘミングさんの友人のお話の会  
費用：無料 ※事前のお申込みが必要

5月オープン

フジコ・ヘミング 絵画展  
パート2

現在展示してあるフジコヘミングの絵画は新しい作品と入れ替え、パート2として展示されます。所蔵していらつしやる蘭日出哉医師のお話の日もあります。展示開始は5月の連休を皮切りに、夏休みには終日オープンいたします。

6月オープン

上原孝子 手しごとや「布リメイク教室」

富岡市は生糸発祥の地「富岡製糸場」は世界遺産です。絹の手触りから古布のリメイクを持ち寄り、楽しく作品を作ろうという計画が富岡や在住の上原さんが指導してくださいます。家に眠っている古布が生活を彩る小物や着るものに早変わり、日本の布作品の伝統を楽しく伝承していく会を作りたいと思います。

- ① 簡単な布物リメイクカット 二時間半で出来上がり
- ② 手芸 布の柿づくり

常設の売店、絵画展示、コーヒーの販売など  
さまざまにアイデアをもって  
皆様をお待ちしています。

※各イベントにつきましては、諸事情により日程の変更や中止となる可能性があります。  
ご参加の際は、事前に当協会ホームページまたはお電話にて最新情報をご確認頂けますようお願い致します。

NPO法人 日本子守唄協会事務局

TEL:03-6458-0283 FAX:03-6458-0284 E-mail:info@komoriuta.jp

https://www.komoriuta.jp/

お申込み  
お問合せ先

町のご紹介

下仁田町にもあった！  
美しいコケ・チャツボミゴケ（茶壺苔）の群落

ぐんま鉱山研究会 代表 和田 晴美

チャツボミゴケはちょっと変わったコケです。特別の環境で育つのです。



チャツボミゴケ 見学会

中之条のチャツボミゴケ公園にあるのと同じコケが下仁田町南野牧の市ノ萱川沿いで見られます

- 開催日時 令和6年4月20日(土) 10時から昼頃まで
集合場所 ①中芦公会堂(南野牧の集会所)10時 南野牧8026-1の家の隣 ②日帰り温泉荒船の湯R254わき駐車場に9時45分 その後移動

- コケ研究者の中澤和則さんに解説していただきます
持ち物:川を渡りますので長靴をお持ちください
参加は無料 当日参加も可
荒天の場合は、公会堂にて中丸鉱山・西の牧鉱山の鉱物の観察を行います
群馬県の石に認定されている鉱物・鶏冠石も持っています(近くで産出する)

主催 ぐんま鉱山研究会
共催 下仁田自然学校 下仁田町自然史館
後援 荒船の湯 女性村ねぎぼうず

2017年、私たち鉱山研究会のメンバーで鉱山調査に行った時のことです。地元会員が「ここにきてみて」と川原からよぶのです。行くところ「きれいな美しいコケの群落がありました。名前を知りたいと思いましたが、実はこのコケ、同定が大変難しいものだったので。決定するには①新鮮なうちに、細胞の中を顕微鏡で見る②さらに胞子をつける部分を見つづける。これでやっと確定。

1 流水の中で育つ 水の中で生きるコケがあるのです。何種類もあるとことで、びっくりに植物は強酸性では生きていけません。このコケはリンゴやミカン、ポン酢くらいの酸性の水の中で育つのです。酸性の水はどうやってできたの？

下仁田のチャツボミゴケを見に行ったら、コケの周りにも注目。チャツボミゴケに絡みついて、茶色の鉄さびのようなものがみえ、積もっているのです。これがたくさん積もれば、鉄の鉱床になりそう。チャツボミゴケ公園はもともと、群馬鉄山という鉄を産出した鉄山のあった場所です。下仁田でも小規模な鉄の鉱床が形成中！？

ねぎぼうずからそれほど遠くない場所に生えているコケの紹介をしましょう。「コケ？あの日陰の少し湿った所なんかで、地面にベタッと張り付いてはえている背丈の低い緑の植物？」はい、あまり興味がない？でも「チャツボミゴケ公園」という言葉、聞いたことありませんか。草津温泉方面にあって、チャツボミゴケが一面に育ち、一帯は2017年に国の天然記念物に指定されています。同じコケが、下仁田にもあるのです。しかも国道245のすぐ近く、下仁田町南野牧です。

2 酸性を好む しかも水は強酸性です。ふつう、植物は強酸性では生きていけません。このコケはリンゴやミカン、ポン酢くらいの酸性の水の中で育つのです。酸性の水はどうやってできたの？

チャツボミゴケの育つ場所、酸性水の起源がこのような例は少ないです。下仁田のチャツボミゴケを見に行ったら、コケの周りにも注目。チャツボミゴケに絡みついて、茶色の鉄さびのようなものがみえ、積もっているのです。これがたくさん積もれば、鉄の鉱床になりそう。チャツボミゴケ公園はもともと、群馬鉄山という鉄を産出した鉄山のあった場所です。下仁田でも小規模な鉄の鉱床が形成中！？



大野 ぼくは多くの人のためになんて、大それたことは言えないけど、友人や知人や妻、つまり身近な人を喜ばせたり、励ましたりできれば、それがぼくが一番の僕自身の力になると自覚しています。そして、その励ましを多くの人にメッセージする手段として僕の版画があると思っています。

大野 日本語のバリエーションで、深く自分の物語が作れるような表現があります。心癒しの部分に大野版画があると。大野 日本語のバリエーションで、深く自分の物語が作れるような表現があります。心癒しの部分に大野版画があると。

「きんちゃん大きくなったね？もう一年生、へー、和ちゃんにおんぶして散歩したの覚えてる？覚えてないよねー、ゆりかごで寝ていたのは覚えてる？もつと覚えてないよねー」と今は本家で子守をして和ちゃんが久しぶりに会った私に言いましたが、覚えていないわけがありません。「住男ちゃん(ふたつ上の兄)が、やきもち焼いてね、きんちゃんやが布団で寝ていると意地悪して、上に乗ったり乱暴したり、殺されるかと思っただよ、だから手の届かないゆりかごに寝させたの」笑いながら言う「ゆりかごのうーたを...」思い出したように優しく歌いました。



画 多田 欣也

妻は最初嫌いだっただのに、今では一時も離れられない。何かあったらと、そう考えただけで涙が出るほど悲しがる、おかげでなかなか外泊もできません。素材としては野良猫も家の猫も、とにかく人間っぽい、曲線が柔らかい、寝顔なんて本当にかわいい。ねこを通して、もはや僕のテーマを猫に集約、猫の大野でいこうかと。

今という時代、実は版画を教えるに学校などいろいろ行くのですが、共通して、子供たちは明るく笑うのに、はつらつとしていないのは若き教師に笑顔がない。不気味です。あえて僕は若い時に描いたような暗いものは描かない。感情が劣化している今こそ、楽しい物、安らぐもの、励まされるものを届けたい。それも鑑賞するものでなく、生活の中に、身近にあるものとして置いてほしい。あえて言えば「生活版画」です。



マー坊と子守歌

ガーデナーデザイナー 多田 欣也

母は喜びましたが父は「他人様の赤ん坊など病気やけがをさせたらどうするんだ」と猛反対しました。それでも母の熱意に負けしづぶ承服したのでした。預かる初日からでした。マー坊と呼ばれた赤ちゃんにメロメロになったのは父でした。もう可愛くて可愛くて大変でした。弁当をもって畑に行っても父は昼時間には戻り「かわいそうだから迎えに行く」と言い、お帰りの時間前でもバイクで迎えに行き、母に預けると又畑に戻る毎日でした。高校生の兄も私も泣けばおんぶをして子守です、這っても立っても歩いてもみんな大喜び、天使でした。しゃべりはじめたらさらに可愛くなり、新しい言葉を覚えれば「天才だ」と驚き、我が家に笑い声が絶えない一番平和な数年間でした。母がおぶって寝かせるとき「ねんねんころりよ...」と、子守歌を歌いました。マー坊のおかげで母の子守歌を初めて聞いたのでした。

